7　ブレーキ

ページ

変更概要……7－2

準備品……7－2

注意事項……7－3

ブレーキ点検・調整……7－4

ブレーキ　ブースタ

タンデム　ブレーキ　ブースタ（ＡＩＳＩＮ製）……7－7

リヤ　デイスク　ブレーキ……7－16

パーキング　ブレーキ　レバー　＆　ケーブル…7－25

デユアル　Ｐ　バルブ……7－26

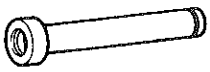
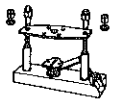
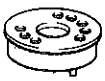
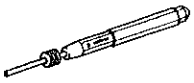
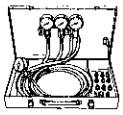
無断複製禁止

変更概要

セリカ　ＧＴ－ＦＯＵＲ車種追加に伴い，トヨタ　セリカ修理書（品番62277 昭和60年８月発行）の内容に以下の項目を追加します。

１．ブレーキ　ブースタ（ＡＩＳＩＮ製７＋８インチ　タンデム）の修理要領
２．リヤ　デイスク　ブレーキの修理要領
３．パーキング　ブレーキ　レバー　＆　ケーブルの修理要領
４．デユアル　Ｐ　バルブの修理要領

準　備　品

ＳＳＴ		09309-36010	リプレーサ，トランスミツシヨン　リヤ　ベアリング	ブースタ　ボデー　シール　No.３取り付け用
		09608-32010	リプレーサ，ステアリング　ナツクル　オイル　シール	ブースタ　ボデー　シール　No.３取り付け用
		09753-00013	ツール，ブレーキ　ブースタ　オーバーホール	ブレーキ　ブースタ　ボデーの分解，組み付け用
		09753-30011	ツール，リアクシヨン　デイスク　ハブ　ホールデイング	ブレーキ　ブースタ　ボデーの分解，組み付け用
		09753-30020	リプレーサ，オイル　シール	ブレーキ　ブースタのボデー　シール脱着用
		09753-40010	ベース，プレート	ブレーキ　ブースタ　ボデーの分解，組み付け用
工　具		09031-00030	ピン　ポンチ	ブレーキ　ブースタのダイアフラム脱着用
計　器		㈱バンザイ扱い BBT-1TB	ポータブル　ブレーキ　ブースタ　テスタ	デユアル　Ｐ　バルブおよびブレーキ　ブースタの機能，作動点検用
	ダイヤル　ゲージ			リヤ　デイスク振れ点検用
油　脂	トヨタ　ブレーキ　フルード　2400G			エア抜き用
	キヤツスル　デイスク　ブレーキ　グリース			アンチスクイール　シム　No.２への塗布用
その他	キヤツスル　ノンメルト　ルブ			パーキング　ブレーキ　プレートへの塗布用
	キヤツスル　ラバー　グリース			各部への塗布用

無断複製禁止

油　脂 その他	ブレーキ　クリーナ（スプレー　タイプ）	リヤ　デイスク内の付着物除去用
	ブレーキ　クリーナ（京華産業㈱扱い　BC-10，15）	リヤ　デイスク内の粉じん除去用
	円筒形の台（65×55×85）mm	ブレーキ　ブースタのボデー　シール脱着用

注意事項

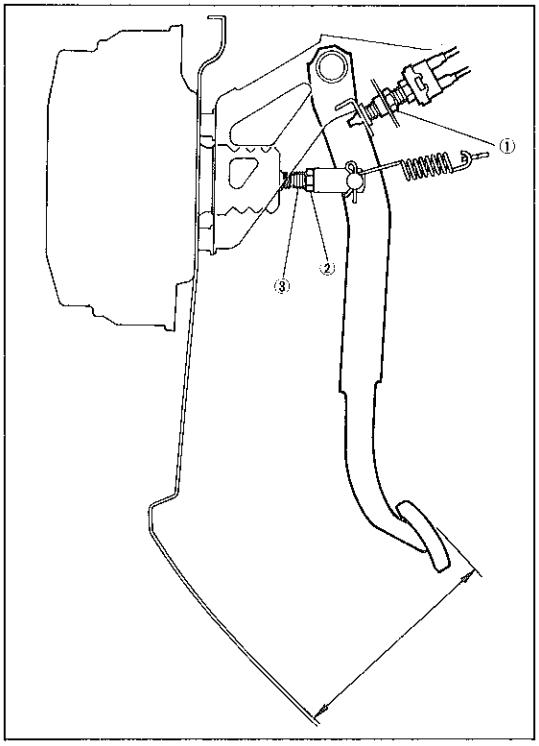
(1) ブレーキ装置の各構成部品の分解，組み付けは，特に慎重かつ正確に行う。

(2) 分解した部品は常に整理，整頓してほこりなどから保護する。

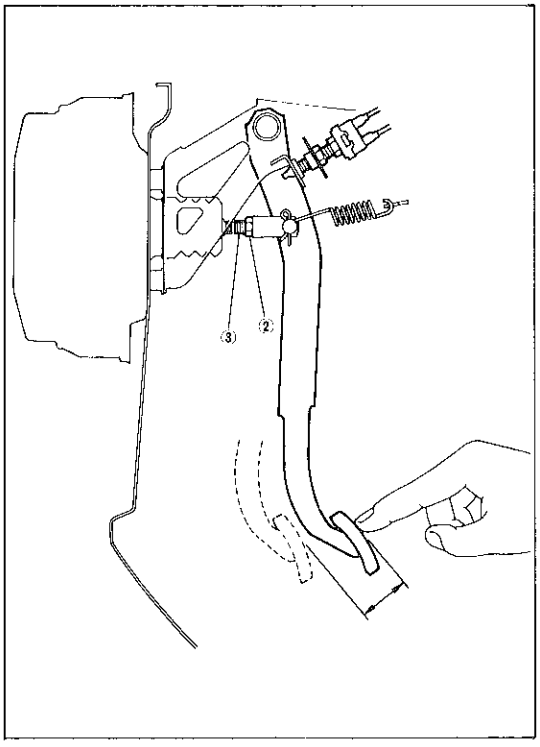
(3) 組み付け前に各部品の洗浄，清掃をする。

(4) 作業終了後の確認は必ず行う。

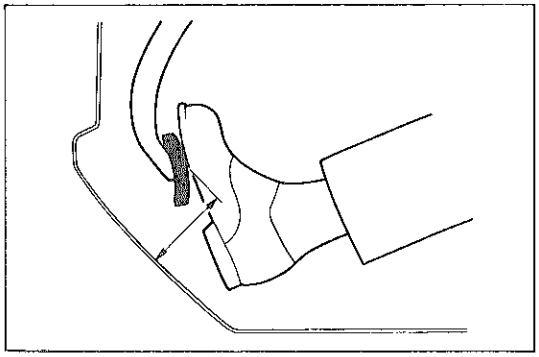
無断複製禁止



E 7637



E 7638



E 7639

ブレーキ点検・調整

ブレーキ　ペダル点検・調整

1　ペダル高さ点検

(1)　ブレーキ　ペダルの高さを測定する。

基準値（アスフアルト　シート上面より）　152～162mm

2　ペダル高さ調整

(1)　ストツプ　ランプ　スイツチのコネクタを切り離し，ナツト①をゆるめスイツチを回してペダルを遊ばせる。

(2)　ナツト②をゆるめ，プツシユ　ロツド③を回してペダル高さを調整する。

(3)　ストツプ　ランプ　スイツチのねじ端部にペダルのクツシヨンが当たるまでスイツチを回してナツト①をロツクする。

(4)　ペダル高さ調整後，ペダル遊び，ストツプ　ランプの点灯を点検する。

3　ペダル遊び点検

(1)　エンジン停止後ペダルを数回強く踏み込み，ブレーキ　ブースタ内のバキユームがない状態にして，ペダルを指で軽く押して測定する。

基準値　3～6mm

注意　クレビスのピンにガタがあることを確認する。

4　ペダル遊び調整

(1)　ナツト②をゆるめ，プツシユ　ロツド③を回してペダル遊びを調整する。

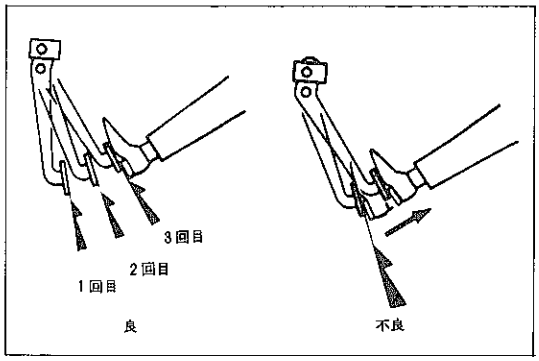
(2)　調整後，ペダル高さ，ストツプ　ランプの点灯を点検する。

5　ペダル踏み残りしろ点検

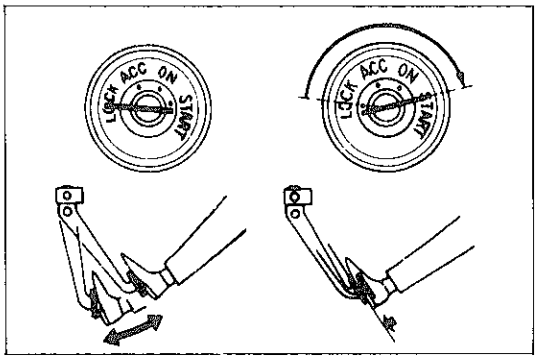
(1)　アイドル回転時パーキング　ブレーキ　レバーをもどした状態で，ペダルを踏力50kgで踏み込んで止まつた位置と床板とのすき間を測定する。

基準値（アスフアルト　シート上面より）　90mm以上

無断複製禁止



B1526



B1525

ブレーキ　ブースタ作動点検

1　ブースタ気密機能点検

(1) エンジンを始動させ，1～2分間回して止め，通常ブレーキを使用する程度の踏力でブレーキ　ペダルを踏んだときの高さを点検する。

基　準　1回目に踏んだときより2回，3回踏んだときのペダル高さの方が高くなる
（1回目と2回目，2回目と3回目の間隔は約5秒以上）

2　ブースタ作動点検

(1) エンジンを停止したまま同じ程度の踏力で数回ブレーキ　ペダルを踏んでペダル高さが変化しないことを点検する。

(2) ブレーキ　ペダルを踏んだままエンジンを始動してペダル高さの変化を点検する。

基　準　ペダルを踏んだ状態でエンジン始動時ペダルが少し奥へ入る

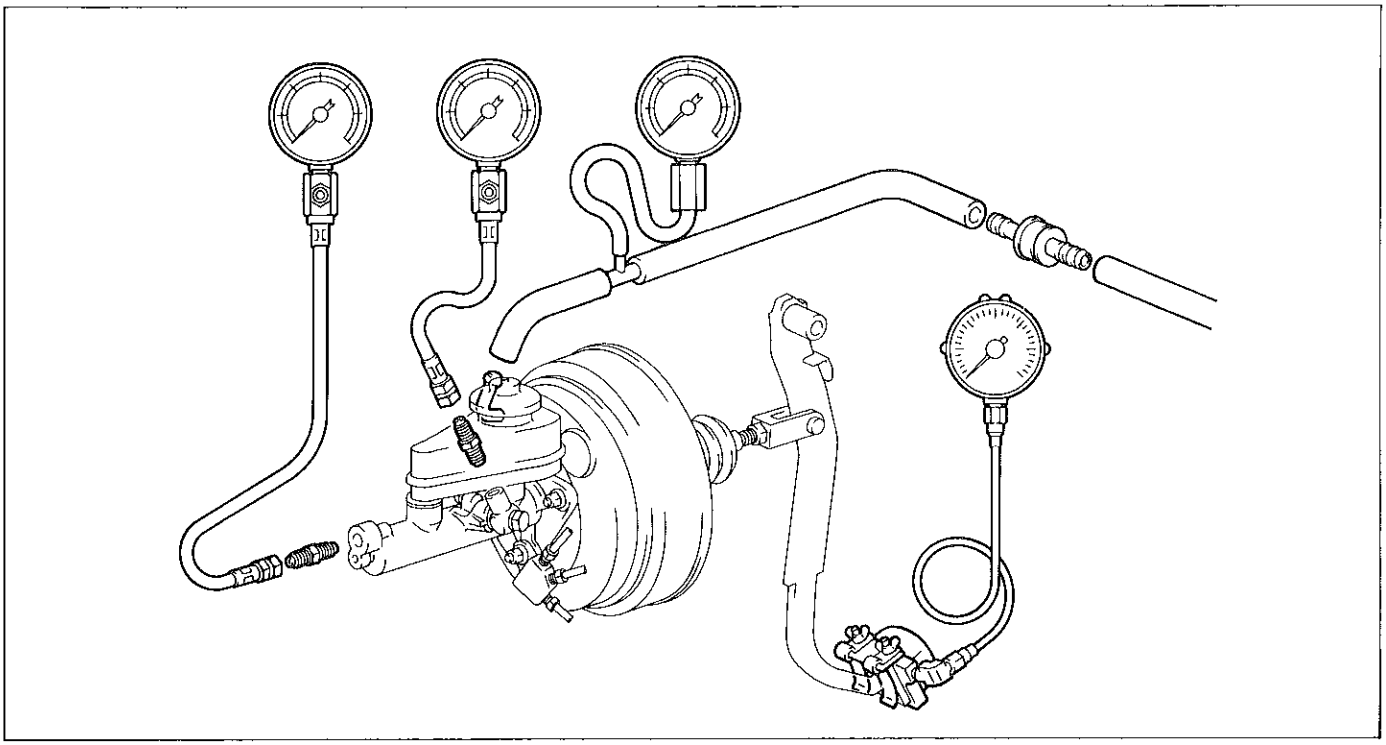
3　ブースタ負荷気密機能点検

(1) エンジン回転中ブレーキ　ペダルを踏み，その状態でエンジンを止め30秒間保持してペダルの高さの変化を点検する。

基　準　ペダル高さに変化がない

4　ポータブル　ブレーキ　ブースタ　テスタによる点検

(1) ポータブル　ブレーキ　ブースタ　テスタを図のように接続しテスタのエア抜きを行う。



E7640

無断複製禁止

(2) 気密機能点検

① エンジンを始動し，負圧計が500mmHgになつたらエンジンを止めて負圧を測定する。

基　準　　エンジン停止後，15秒間の負圧の低下がない

(3) 負荷気密機能点検

① エンジンを始動し，ブレーキ　ペダルを踏力20kgで踏んで負圧計が500mmHgになつたらエンジンを止めて負圧を測定する。

基　準　　エンジン停止後，15秒間の負圧の低下が25mmHg以内

(4) 無倍力作動点検

① エンジンを停止し，負圧計の読みを0にし踏力と液圧の関係を点検する。

基準値

踏　力(kg)	液　圧(kg/cm²以上)
10	1.5
30	15

(5) 倍力作動点検

エンジンを始動し，負圧計の読みを500mmHgにし，エンジン停止後ブレーキ　ペダルの踏み液圧を測定する。

上記を各踏力について行う。

基準値

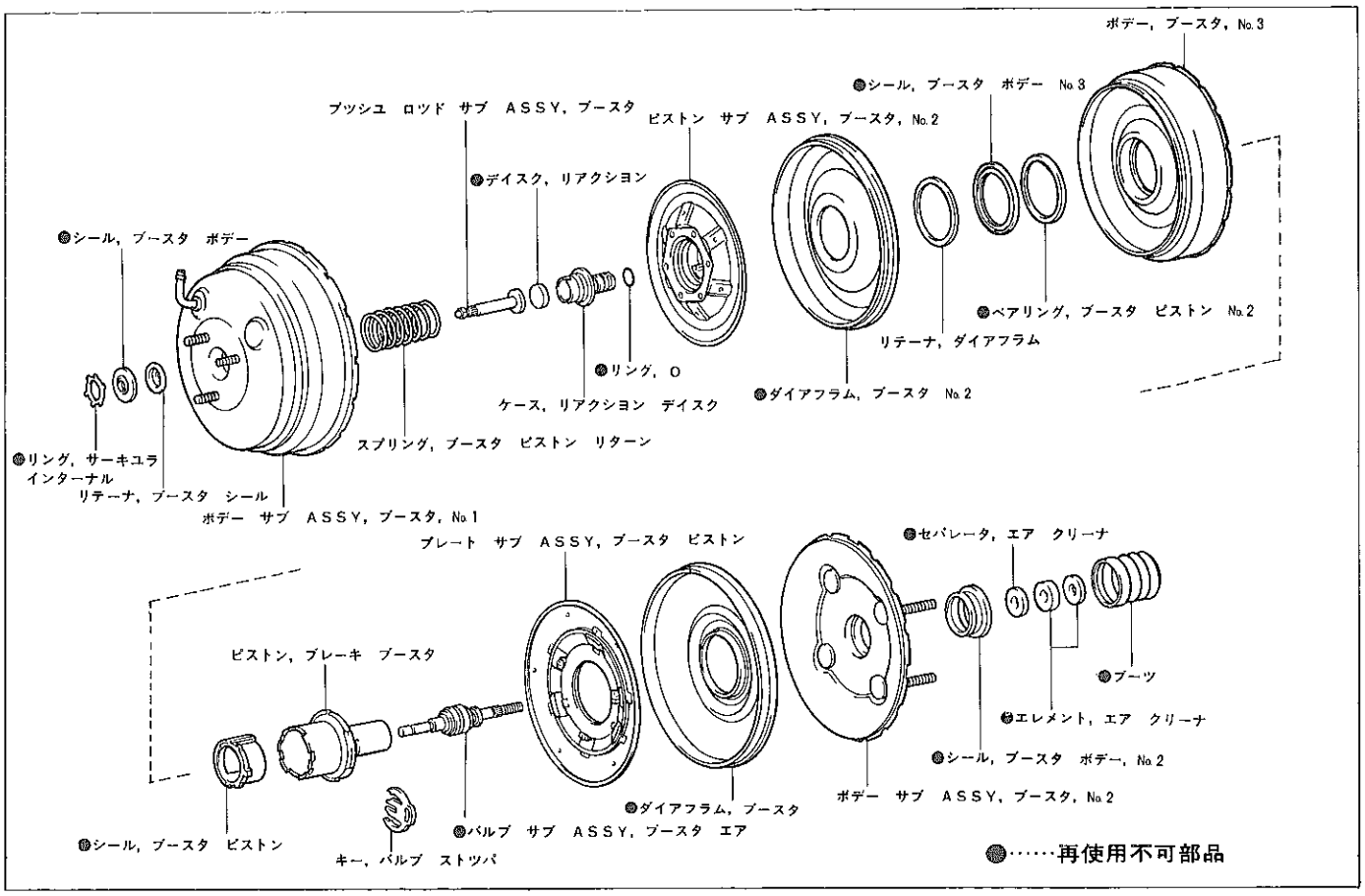
踏　力(kg)	液　圧(kg/cm²)
5	10～19
10	31～42
15	54～65
20	76～87

無断複製禁止

ブレーキ　ブースタ

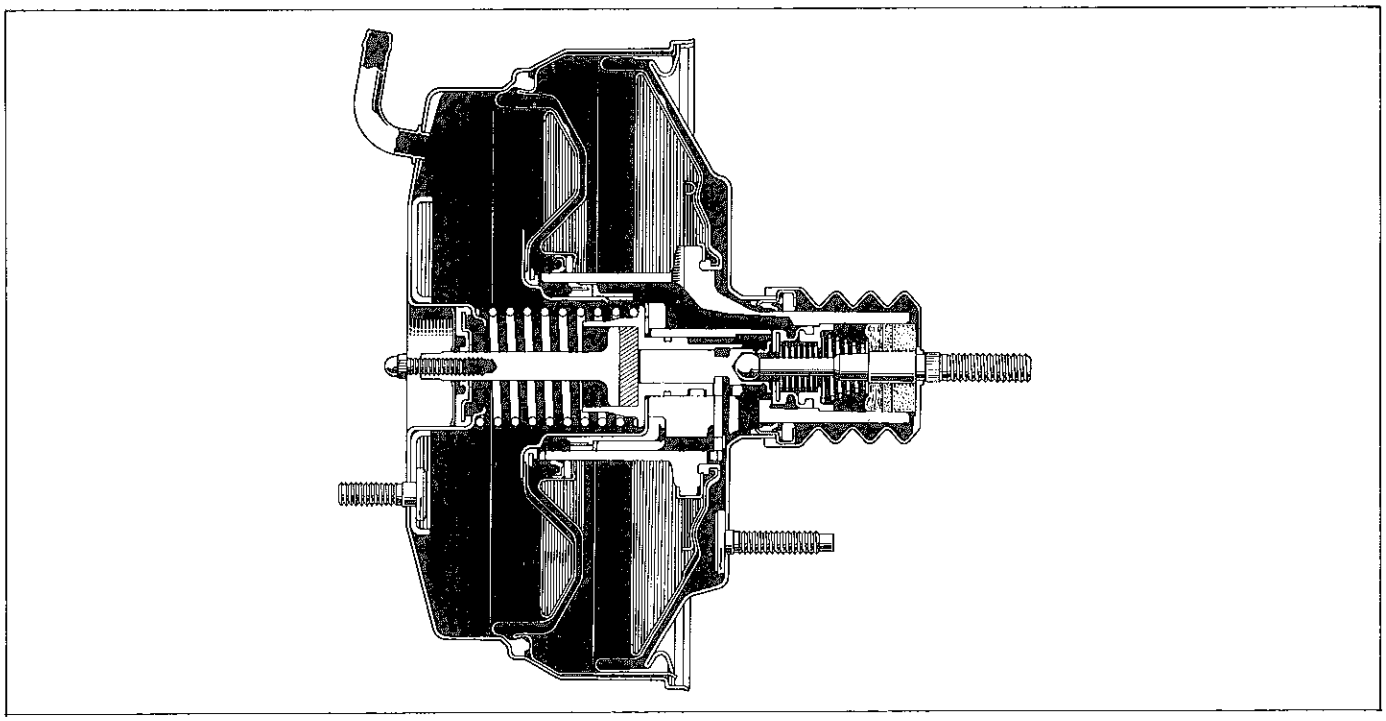
タンデム　ブレーキ　ブースタ(AISIN製)

分解構成図



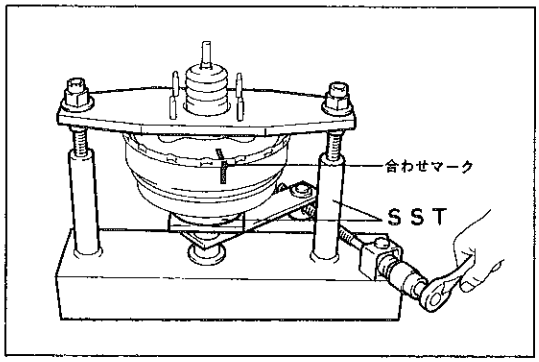
E5859

断　面　図

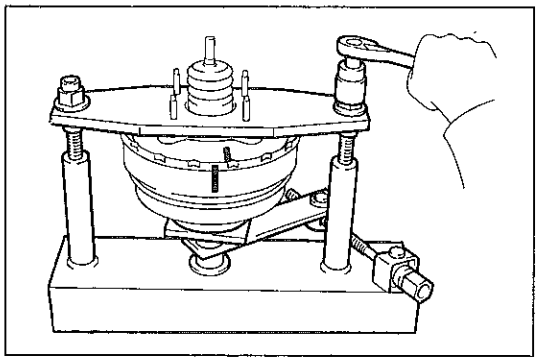


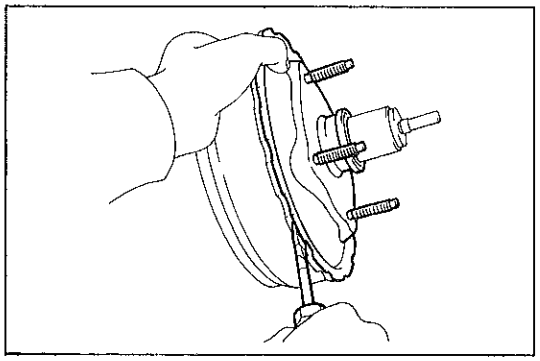
E7641

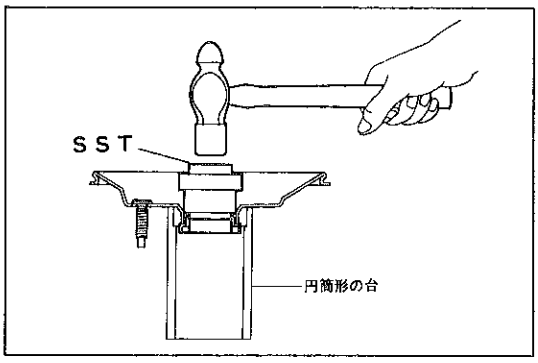
無断複製禁止



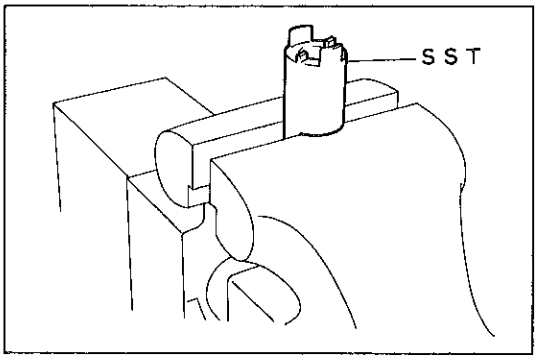
E5370


E5371


E5363



D8354



D8671

ブレーキ　ブースタ分解

1　プツシユ　ロツド　クレビスおよびナツト取りはずし

2　ブースタ　ボデー　No.1，No.2切り離し

(1) ブースタ　ボデー　No.1とNo.2に合わせマークを付ける。

(2) ＳＳＴにブースタを取り付け，左右のセツト　ナツトを均等に締め付ける。

ＳＳＴ　09753-00013　09753-40010

Ｔ＝50kg・cm

注意 ＳＳＴのセツト　ナツトの締めすぎはブースタ　ボデーを変形させるおそれがある。

(3) ＳＳＴのスクリユを時計方向に回転させ，ブースタ　ボデーのかん合をはずす。

(4) アツパ　プレートを取りはずし，ブースタ　No.2　ボデー　サブ　ＡＳＳＹ，プツシユ　ロツドおよびリターン　スプリングを取りはずす。

3　ブーツ取りはずし

4　ブースタ　ボデー　No.2，No.3切り離し

(1) ⊖ドライバを使用して，合わせ部に差し込み軽くこじつて切り離す。

5　ブースタ　ボデー　No.2　シール取りはずし

(1) ＳＳＴを使用して，ブースタ　ボデー　No.2からブースタ　ボデー　No.2　シールを取りはずす。

ＳＳＴ　09753-30020

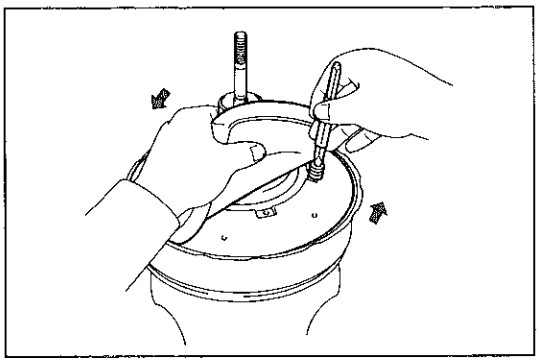
6　ブースタ　ボデー　No.3　サブ　ＡＳＳＹ固定

(1) ＳＳＴをバイスに固定する。

ＳＳＴ　09753-30011

(2) ＳＳＴの凸部にリアクシヨン　デイスク　ケースの凹部を合わせて，ブースタ　ボデー　No.3　サブ　ＡＳＳＹを取り付ける。

無断複製禁止



D9287

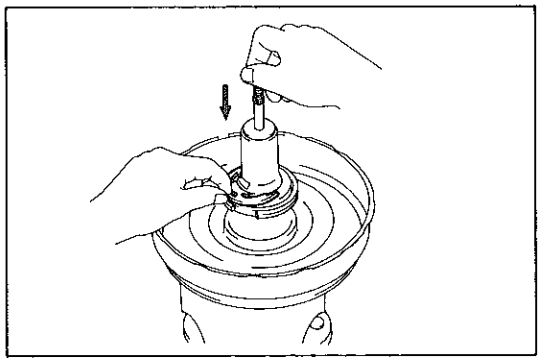
7　ブースタ　ピストン　プレートおよびダイアフラム取りはずし

(1)　ダイアフラムを一部めくる。

(2)　ピン　ポンチを使用して，ブースタ　ピストン　プレートの穴に差し込み，反時計方向に回転させて，ブースタ　ピストン　プレートおよびダイアフラムを取りはずす。

注意　回転の際，ブースタ　ピストン　プレート穴を傷つけない。

(3)　ブースタ　ピストン　プレートからダイアフラムを取りはずす

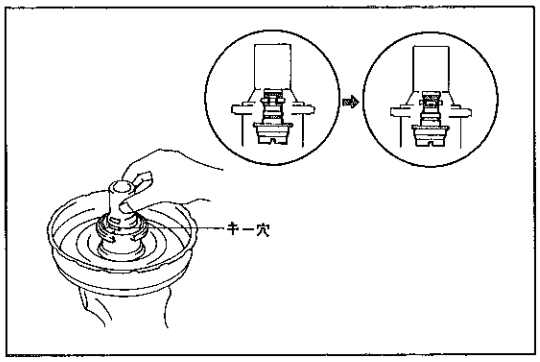


D8673

8　ブースタ　エア　バルブ　サブ　ＡＳＳＹ取りはずし

(1)　ブースタ　エア　バルブ　サブ　ＡＳＳＹを押して，バルブ　ストツパ　キーを取りはずす。

(2)　エア　クリーナ　セパレータ，エア　クリーナ　エレメント２個とともにブースタ　エア　バルブ　サブ　ＡＳＳＹを引き抜く。

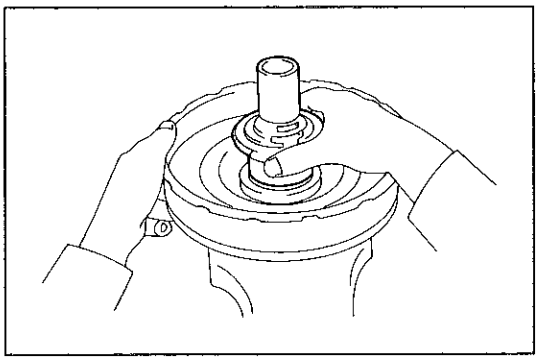


D8674

9　ブースタ　ピストン取りはずし

(1)　ブースタ　ピストンを軽く押さえて90°回転させる。

注意　ブースタ　ピストンのキー穴からリアクション　デイスク　ケースの位置を確認する。



D8675

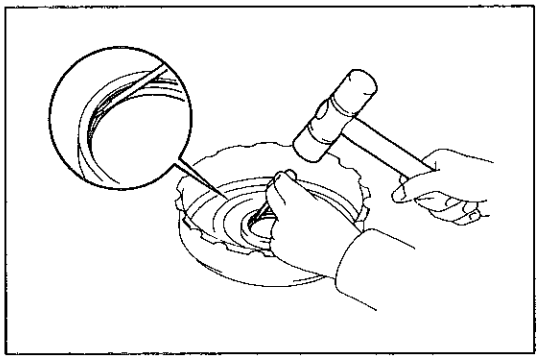
(2)　ブースタ　ピストンをブースタ　ピストン　No.２から取りはずす。

(3)　ブースタ　ピストンからブースタ　ピストン　シールを取りはずす。

10　ブースタ　ボデー　No.３取りはずし

11　ブースタ　ピストン　No.２　サブ　ＡＳＳＹ取りはずし

12　リアクション　デイスク　ケース取りはずし



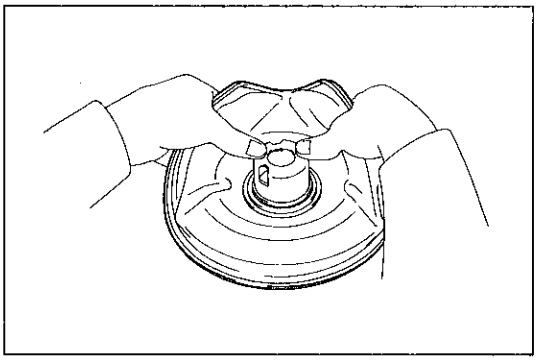
D8676

13　ブースタ　ボデー　No.３　シールおよびブースタ　ピストン　No.２　ベアリング取りはずし

(1)　㊀薄刃ドライバとプラスチック　ハンマを使用して，ブースタ　ボデー　No.３からブースタ　ボデー　No.３　シールおよびブースタ　ピストン　No.２　ベアリングを取りはずす。

注意　ブースタ　ボデー　No.３を傷つけない。

無断複製禁止

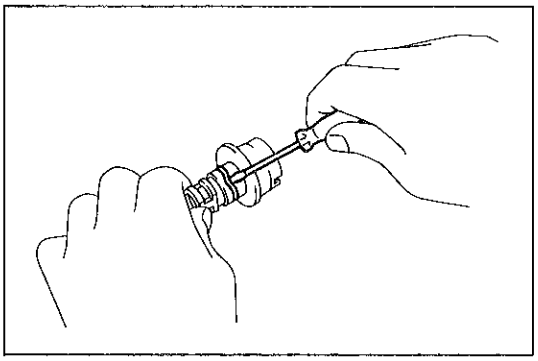


D8677

14 ブースタ No.2 ダイアフラム取りはずし

(1) ブースタ ピストン No.2からブースタ No.2 ダイアフラムを取りはずす。

(2) ブースタ No.2 ダイアフラムからダイアフラム リテーナを取りはずす。

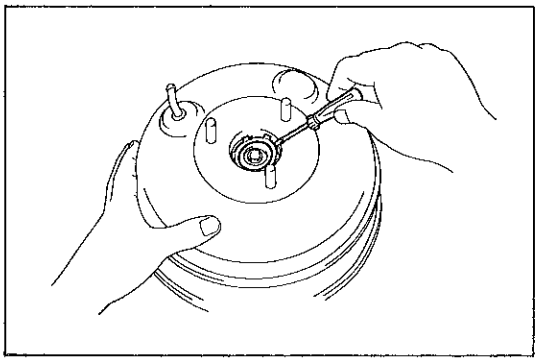


D8678

15 リアクションデイスクおよびO リング取りはずし

(1) ⊖薄刃ドライバを使用して，リアクション デイスク ケースからO リングおよびリアクション デイスクを取りはずす。

注意 リアクション デイスク ケースを傷つけない。

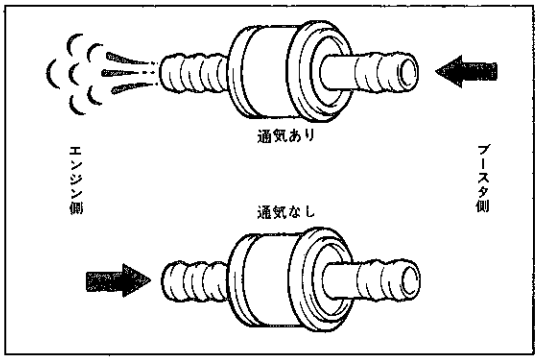


E6364

16 ブースタ ボデー シール取りはずし

(1) ⊖薄刃ドライバを使用して，サーキュラ インターナル リングおよびブースタ ボデー シールを取りはずす。

(2) ブースタ ボデー シールからシール リテーナを取りはずす。



D7398

チエツク バルブ点検

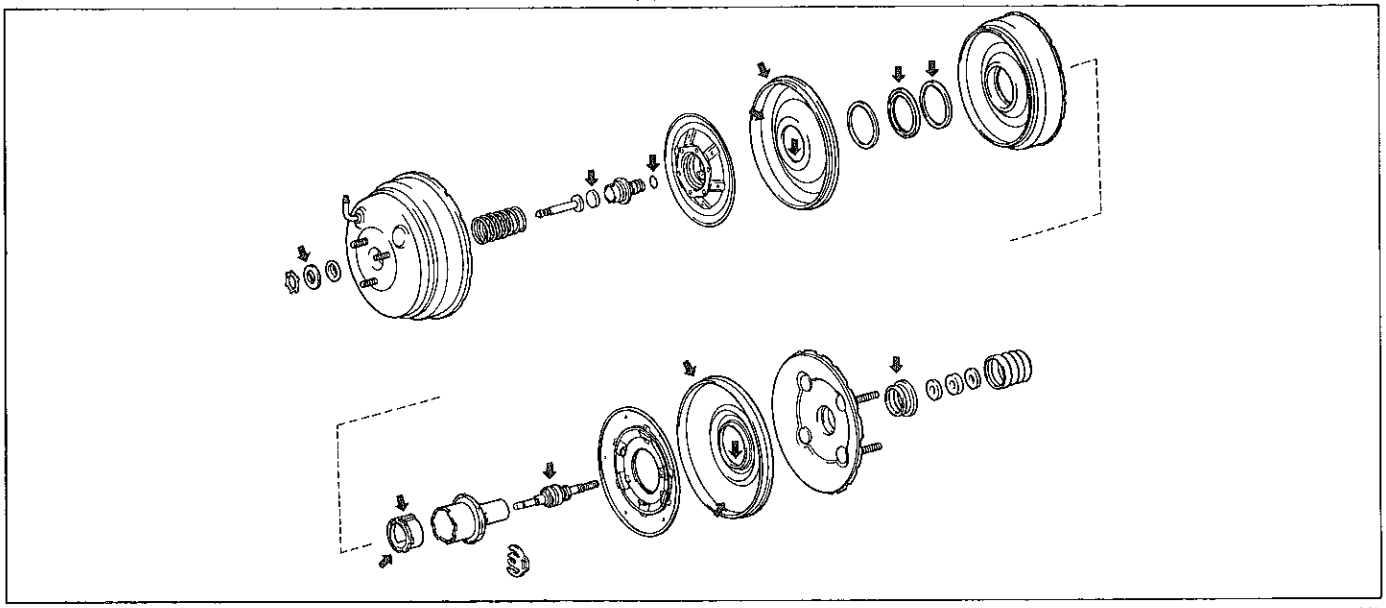
(1) ブースタ側からエンジン側に通気のないことを，また，エンジン側からブース側に通気のないことを点検する。不良の場合はチエツク バルブを交換する。

無断複製禁止

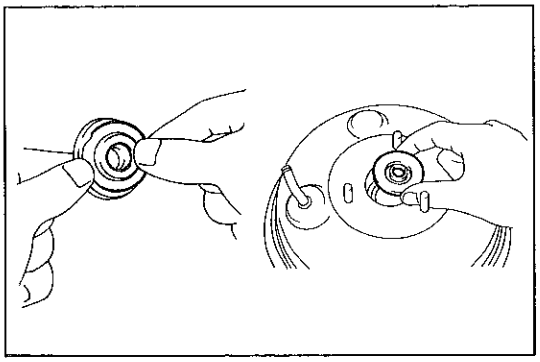
ブレーキ　ブースタ組み付け

1　シリコン　グリース塗布

(1) 矢印の示す部位にシリコン　グリースを塗布する。



E5359

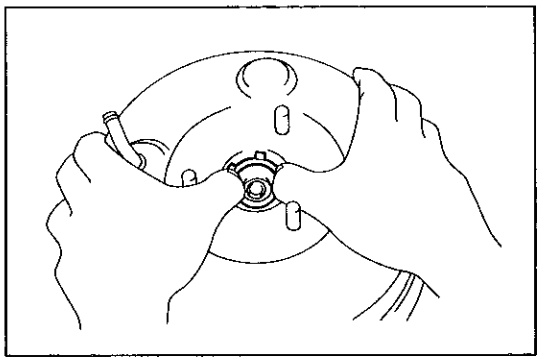


D8681　E5516

2　ブースタ　ボデー　シール組み付け

(1) 新品のブースタ　ボデー　シールにシール　リテーナを組み付ける。

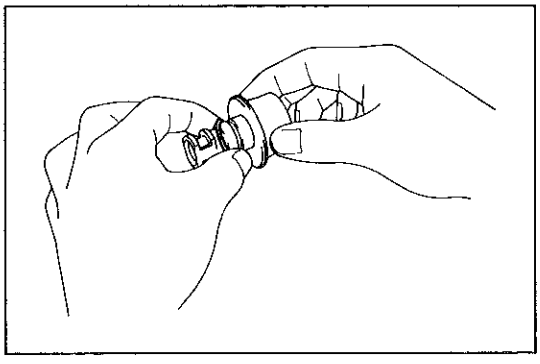
(2) ブースタ　ボデー　シールをブースタ　ボデー　No.1に組み付ける。



E5365

(3) 新品のサーキュラ　インターナル　リングを組み付ける。

3　O　リング組み付け

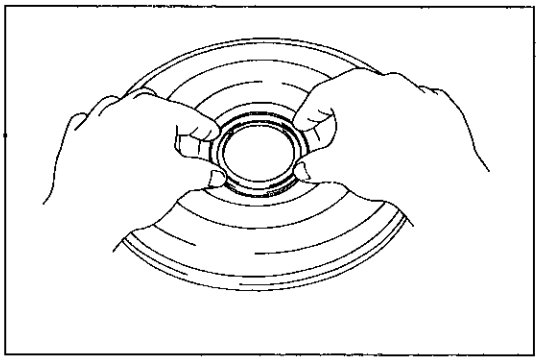


D8684

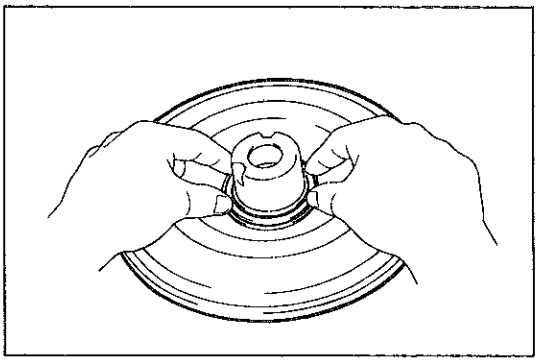
(1) 新品のO　リングをリアクション　デイスク　ケースに組み付ける。

注意　O　リングを傷つけない。

無断複製禁止



D8685

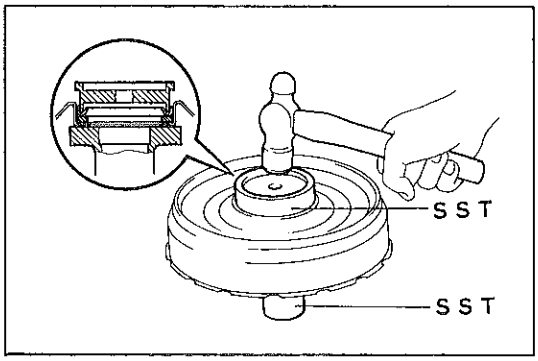


D8686

4　ブースタ　No.2　ダイアフラム組み付け

(1) 新品のブースタ　No.2　ダイアフラムにダイアフラム　リテーナを組み付ける。

(2) ブースタ　ピストン　No.2にブースタ　No.2　ダイアフラムを組み付ける。

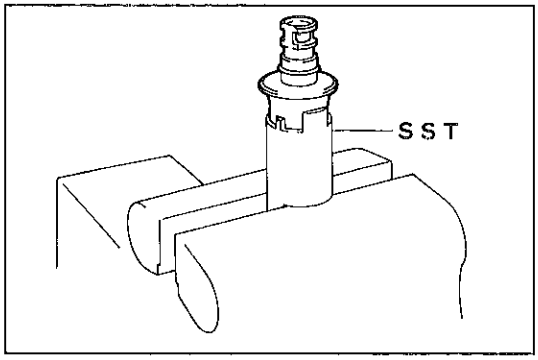


D8687

5　ブースタ　ボデー　No.3　シールおよびブースタ　ピストン　No.2　ベアリング組み付け

(1) ＳＳＴを使用して，ブースタ　ボデー　No.3に新品のブースタ　ピストン　No.2　ベアリングおよびブースタ　ボデー　No.3　シールを組み付ける。

ＳＳＴ　09309-36010　09608-32010

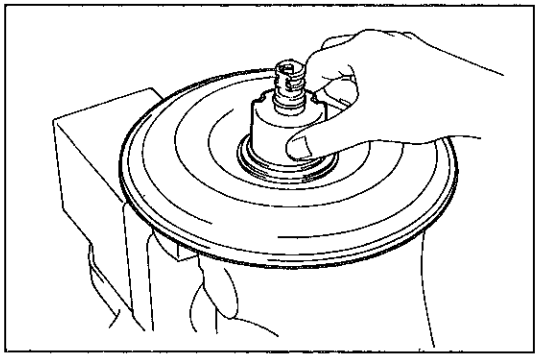


D8688

6　ブースタ　ピストン　No.2　サブ　ＡＳＳＹ組み付け

(1) ＳＳＴをバイスに固定し，リアクション　デイスク　ケースを取り付ける。

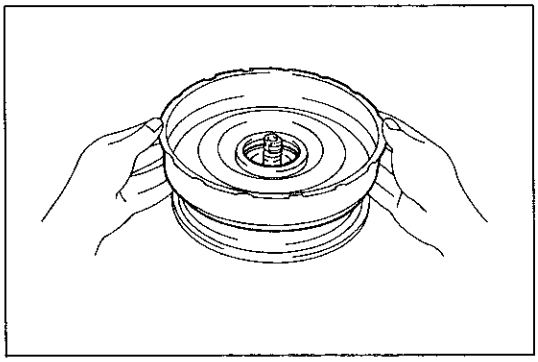
ＳＳＴ　09753-30011



D8689

(2) リアクション　デイスク　ケースにブースタ　ピストン　No.2　サブ　ＡＳＳＹを組み付ける。

無断複製禁止

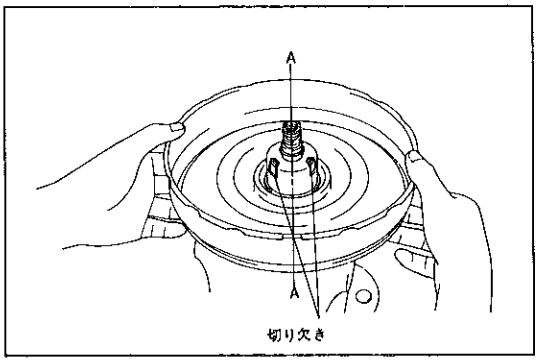


D8690

7　ブースタ　ボデー　No.3組み付け

(1) ブースタ　ボデー　No.3をブースタ　ピストン　No.2に組み付ける。

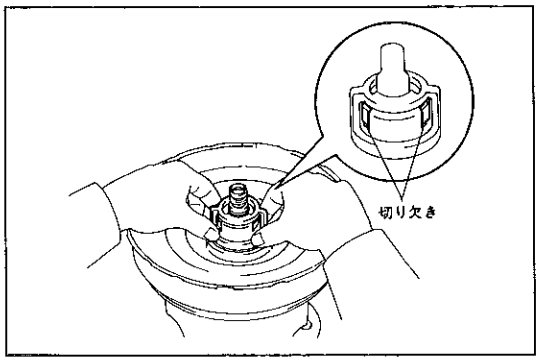
注意　ダイアフラムをブースタ　ボデー　No.3に確実に組み付ける。



D8691

8　ブースタ　ピストン　シール組み付け

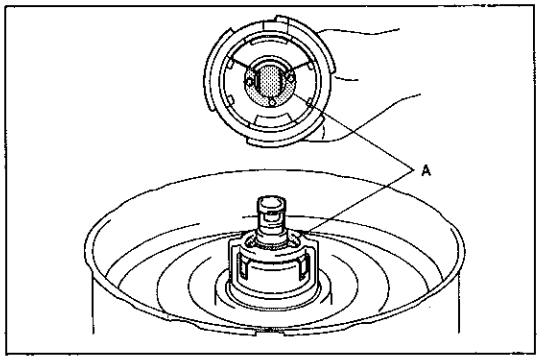
(1) リアクション　デイスク　ケースの2面幅とブースタ　ピストン　No.2の切り欠き部をA-A軸に対して対称にする。



D8692

(2) ブースタ　ピストン　シールの開口部がブースタ　ピストン　No.2の切り欠き部2箇所が完全に見えるように組み付ける。

注意
- ブースタ　ピストン　No.2の切り欠き部2箇所は，バキューム通路のため絶対に塞がない。
- ブースタ　ピストン　シールを変形させない。
- ブースタ　ピストン　シールとブースタ　ピストン　No.2との間には隙間を開けない。



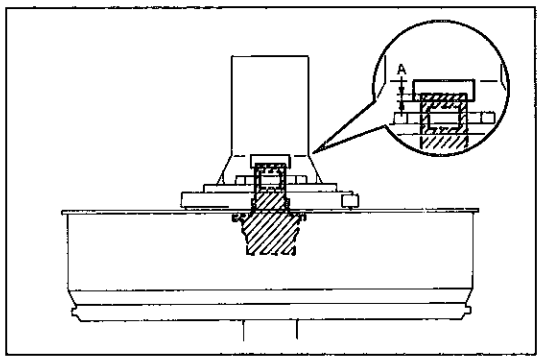
D8693

9　ブースタ　ピストン組み付け

(1) リアクション　デイスク　ケースの2面幅とブースタ　ピストン　No.2の切り欠き部の位置を確認する。

(2) リアクション　デイスク　ケースの2面幅とブースタ　ピストンの2面幅を合わせる。

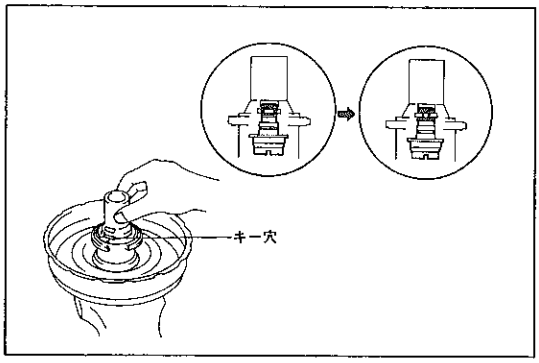
(3) ブースタ　ピストンのA部とブースタ　ピストン　シールのA部を一致させて，ブースタ　ピストンを奥まで押し込む。



D8694

(4) ブースタ　ピストンが確実に組み付いていることをバルブ　エア通路穴からA寸法が約1㎜以上あることを確認する。

無断複製禁止

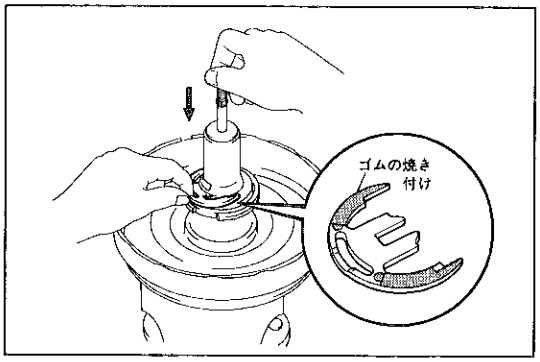


D8695

10 ブースタ エア バルブ サブ ASSY組み付け

(1) ブースタ ピストンを軽く押さえて90°回転させる。

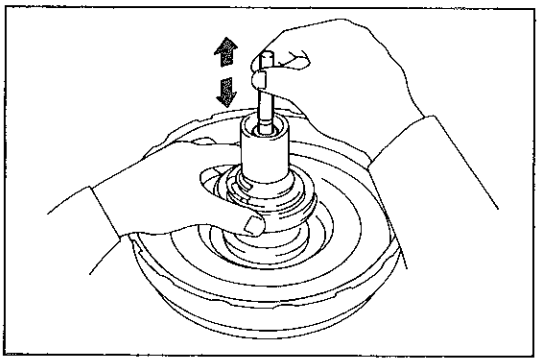
注意 ブースタ ピストンのキー穴からリアクション デイスク ケースの位置を確認する。



E5740

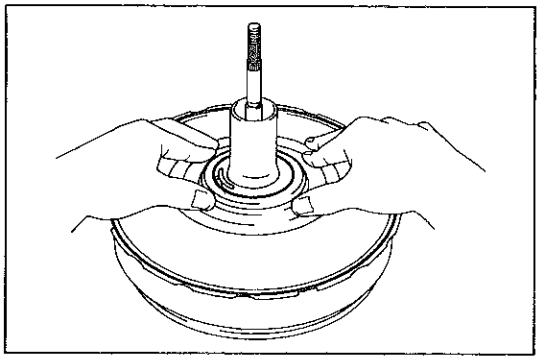
(2) ブースタ ピストンに新品のブースタ エア バルブ サブ ASSYを挿入する。

(3) ブースタ エア バルブ サブ ASSYを押して，ゴムの焼き付け面が見えるようにバルブ ストツパ キーを組み付ける。



D8696

(4) ブースタ エア バルブ サブ ASSYを引っ張つて確実にバルブ ストツパ キーが効いていることを確認する。



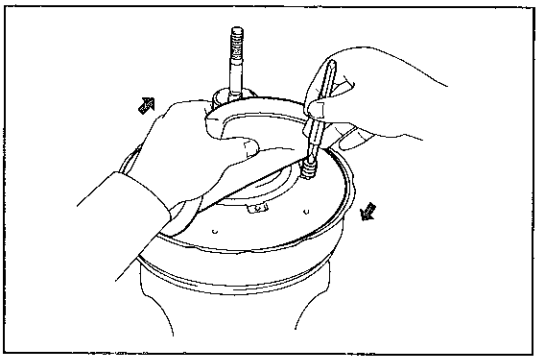
D8697

11 ブースタ ピストン プレートおよびダイアフラム組み付け

(1) ブースタ ピストン プレートに新品のダイアフラムを組み付ける。

注意 ダイアフラムはプレートの内周溝に確実に組み付ける。

(2) ダイアフラム サブ ASSYをブースタ ピストンに組み付ける。



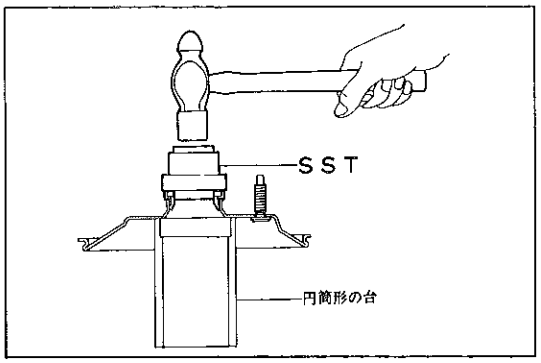
D9237

(3) ダイアフラムの一部をめくり，ピン ポンチを使用して，ブースタ ピストン プレートに差し込み，時計方向にいつぱいまで回転させて固定する。

(4) ダイアフラム サブ ASSYがブースタ ピストンに確実に組み付いていることを点検する。

注意 回転の際，ブースタ ピストン プレート穴を傷つけない。

無断複製禁止

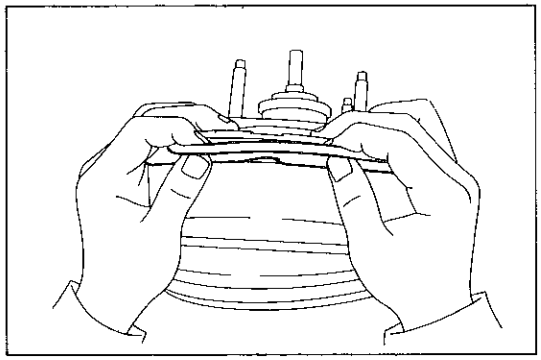


D8355

12　ブースタ　ボデー　No.2　シール組み付け

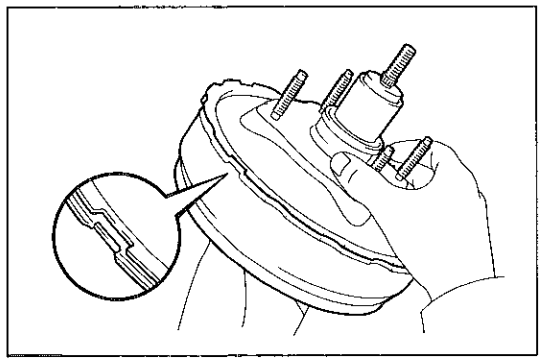
(1)　ＳＳＴを使用して，新品のブースタ　ボデー　No.2　シールをブースタ　ボデー　No.2に打ち込む。

ＳＳＴ　　09753-30020


E5366

13　ブースタ　ボデー　No.2，No.3結合

(1)　ブースタ　ボデー　No.3をダイアフラムに組み付ける。


E5367

(2)　ブースタ　ボデー　No.2の切り欠き部とブースタ　ボデー　部No.3の凸部を合わせて結合する。

注意　ダイアフラムを噛み込ませない。

14　エア　クリーナ　セパレータおよびエレメント組み付け

(1)　新品のエア　クリーナ　セパレータおよびエレメント2個をブースタ　ピストンに組み付ける。

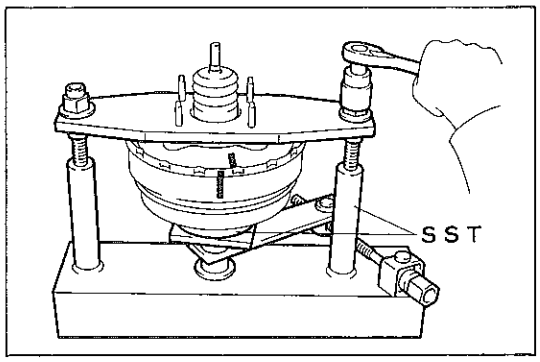
15　ブーツ(新品)組み付け

16　リアクション　デイスク（新品）組み付け

17　ブースタ　ボデー　No.1，No.2結合

(1)　ブースタ　ボデー　No.1にブースタ　ピストン　リターン　スプリングおよびプツシユ　ロツドを組み付ける。

(2)　ＳＳＴを使用して，ブースタ　ピストン　リターン　スプリングを押し縮める。



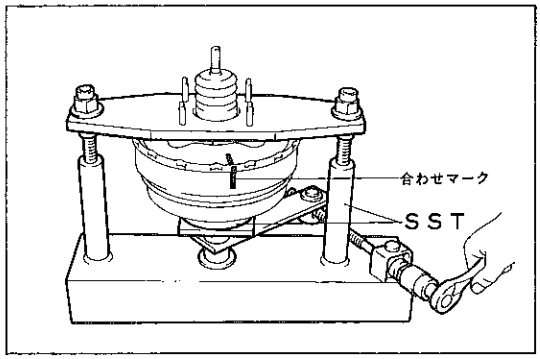
E5371

ＳＳＴ　　09753-00013　　09753-40010

(3)　ＳＳＴのセツト　ナツトを左右均等に締め付け，かん合位置にする。

Ｔ＝50kg・cm

注意　ＳＳＴのセツト　ナツトの締めすぎはブースタ　ボデーを変形させるおそれがある。



E5370

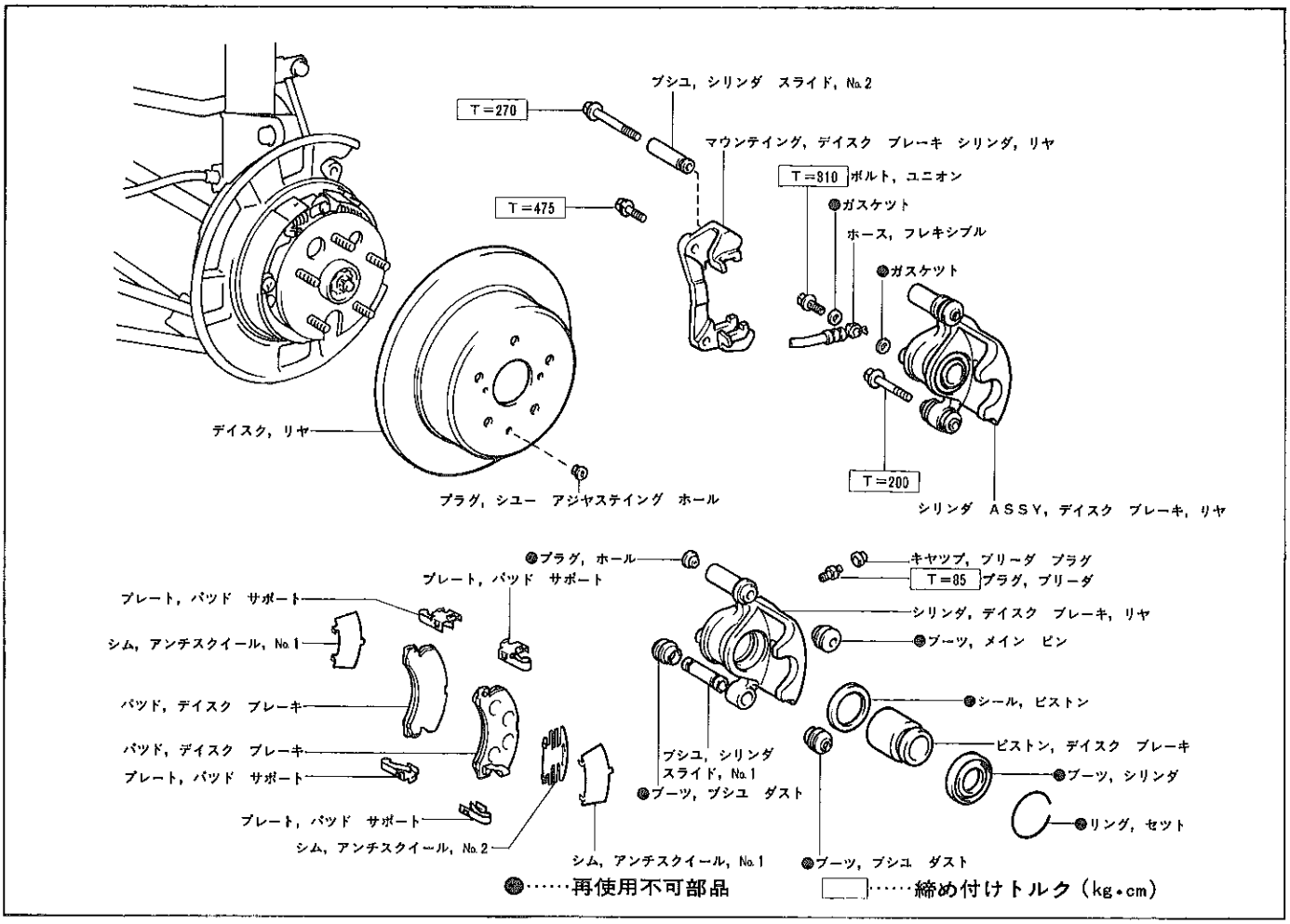
(4)　ＳＳＴのスクリユを反時計方向に回転させ，合わせマークが合うまでかん合させる。回転が重い場合は，ブースタ　ボデーNo.1とNo.2が接触する部分に少量のシリコン　グリースを塗布する。

18　プツシユ　ロツド　クレビスおよびナツト組み付け

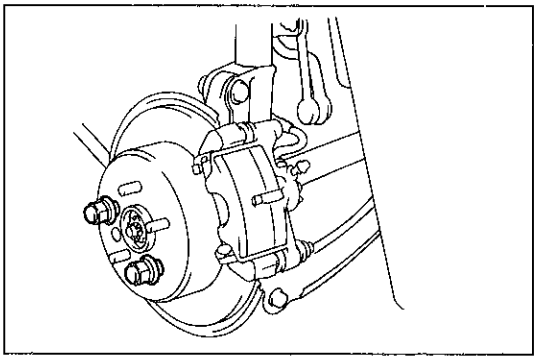
無断複製禁止

リヤ デイスク ブレーキ

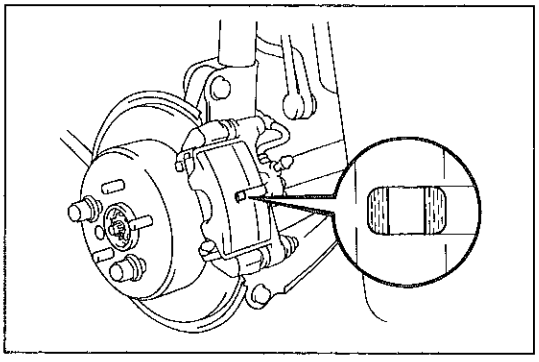
脱着分解構成図



E7642



E7643



E7644

デイスク ブレーキ パツドの点検および交換

1 リヤ ホイール取りはずし

2 リヤ デイスク固定

(1) ハブ ナツトで，リヤ デイスクを固定する。

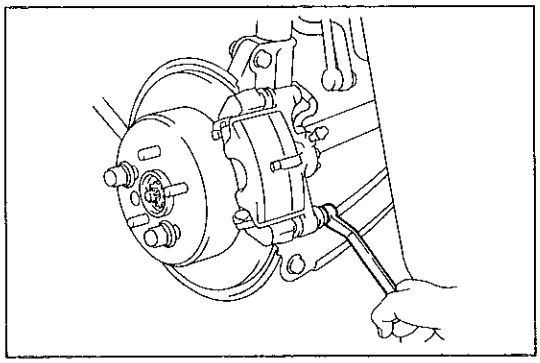
3 デイスク ブレーキ パツドの厚さ点検

(1) デイスク ブレーキ シリンダの点検穴からパツドの厚さを点検する。

基準値 10.0mm

限 度 1.0mm

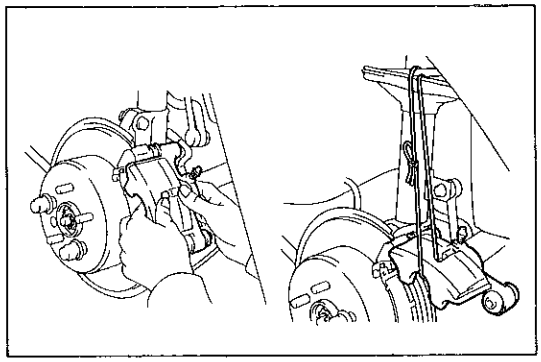
無断複製禁止



E7645

4　デイスク　ブレーキ　シリンダ取りはずし

(1) デイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングからボルトを取りはずす。

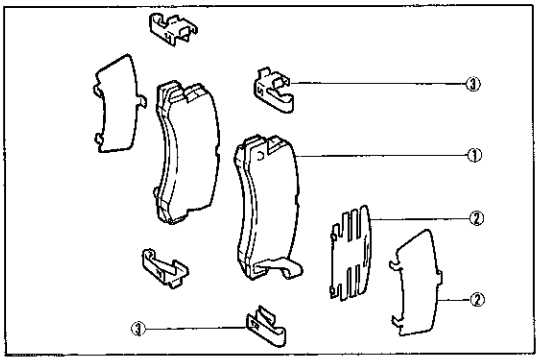


E7646　E7647

(2) デイスク　ブレーキ　シリンダを上方へ回転させ，針金などで吊す。

注意　フレキシブル　ホースに無理な力を加えない。

〈参考〉・フレキシブル　ホースは切り離しの必要はない。
・デイスク　ブレーキ　シリンダはシリンダ　マウンテイングのNo.2　ブシユから取りはずす必要はない。

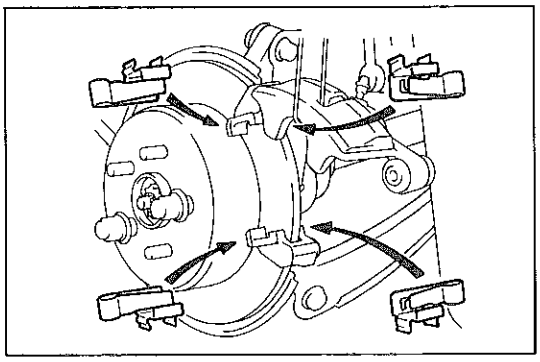


E5464

5　デイスク　ブレーキ　パツド取りはずし

(1) デイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングから次の部品を取りはずす。

① デイスク　ブレーキ　パツド２枚
② アンチスクイール　シム３枚
③ パツド　サポート　プレート４個



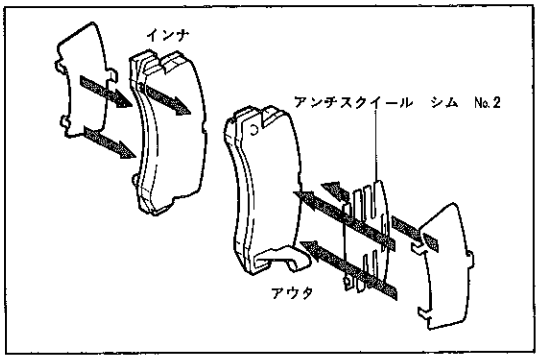
E7648

6　デイスクの振れ点検

（P 7 —21参照）

7　パツド　サポート　プレート取り付け

(1) デイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングに新品のパツド　サポート　プレート４個を取り付ける。



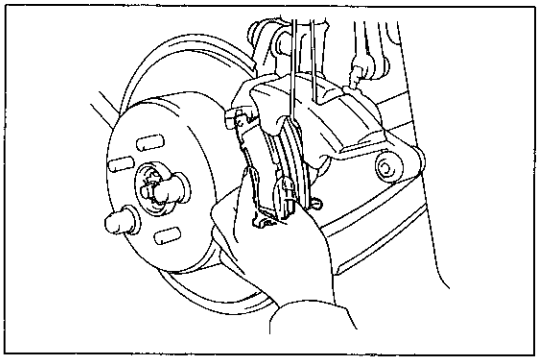
E6493

8　デイスク　ブレーキ　パツド取り付け

(1) アンチスクイール　シム　No.２の両面にキヤツスル　デイスク　ブレーキ　グリースを塗布して，アウタ　パツドに取り付ける。

(2) パツドの下側にアンチスクイール　シム　No.１のツメ２箇所を付けてから，パツドの上側の凹部にシムのツメを取り付ける。

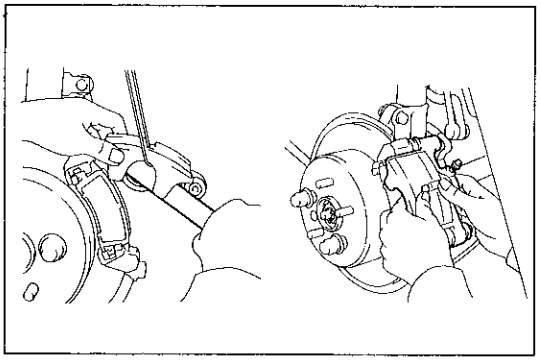
無断複製禁止



E7649

(3) 新品のデイスク ブレーキ パツド2枚をデイスク ブレーキ シリンダ マウンテイングに取り付ける。

注意 パツドおよびデイスクの摩擦面に油脂，その他の汚れを付着させない。



E7650 E7646

9 デイスク ブレーキ シリンダ取り付け

(1) マスタ シリンダ リザーバよりブレーキ フルードを小量抜き取る。

(2) ハンマの柄などでピストンを押し込む。

注意 反対側のピストンが飛び出すことがあるのでパツドの交換作業は必ず片輪ごとに行う。

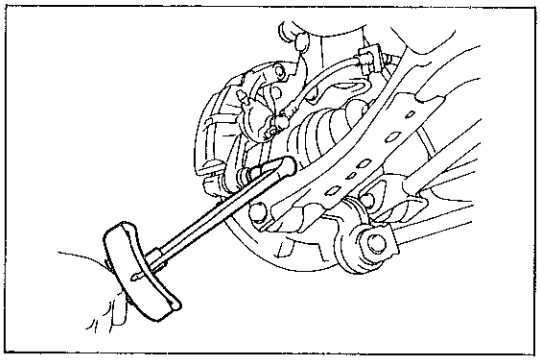
〈参考〉 重くて押し込めない場合，ブリーダ プラグをゆるめてフルードを逃がしながら押し込むとよい。

(3) ダスト ブーツが噛み込まないよう注意して，デイスク ブレーキ シリンダを取り付ける。

注意 フレキシブル ホースをねじらない。

(4) デイスク ブレーキ シリンダをボルトで固定する。

T＝200kg・cm



E7651

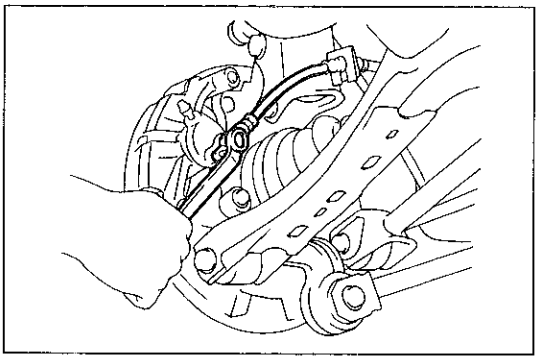
10 リヤ ホイール取り付け

T＝1050kg・cm

11 リヤ ブレーキの引きずり点検

12 ブレーキ フルード注入

(1) ブレーキ フルードをマスタ シリンダ リザーバのMAX基準線まで注入する。



E7652

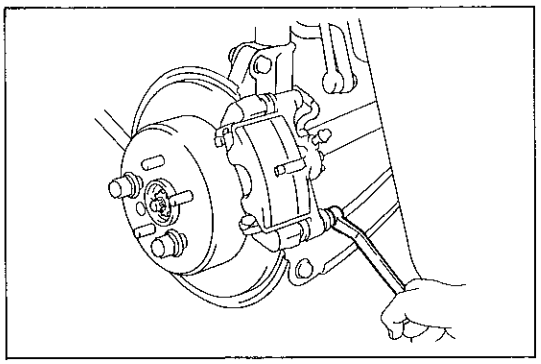
デイスク ブレーキ シリンダ取りはずし

1 フロント ホイール取りはずし

2 フレキシブル ホース切り離し

(1) ユニオン ボルトおよびガスケツト2個を取りはずし，フレキシブル ホースを切り離す。

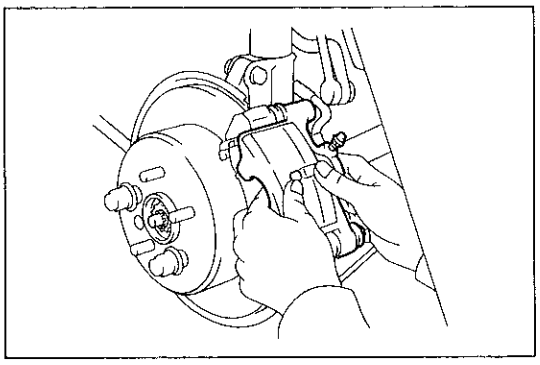
無断複製禁止



E7645

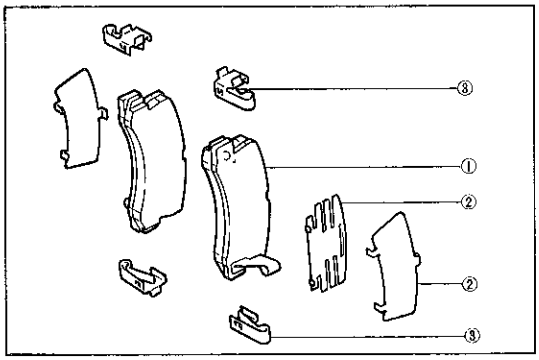
3　デイスク　ブレーキ　シリンダ取りはずし

(1) デイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングからボルトを取りはずす。



E7646

(2) デイスク　ブレーキ　シリンダをシリンダ　マウンテイングのNo.2　ブシユから取りはずす。



E5464

4　デイスク　ブレーキ　パツド取りはずし

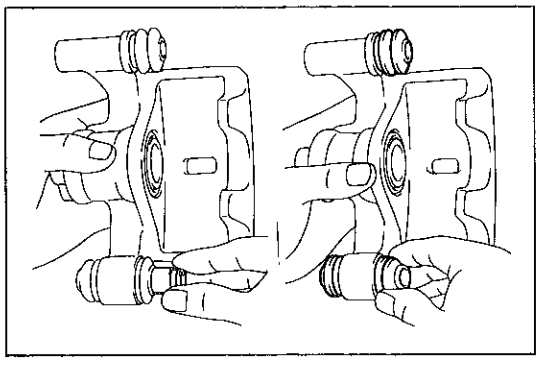
(1) デイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングから次の部品を取りはずす。

① デイスク　ブレーキ　パツド2枚
② アンチスクイール　シム3枚
③ パツド　サポート　プレート4個

デイスク　ブレーキ　シリンダ分解

1　シリンダ　スライド　ブシユおよびブーツ取りはずし

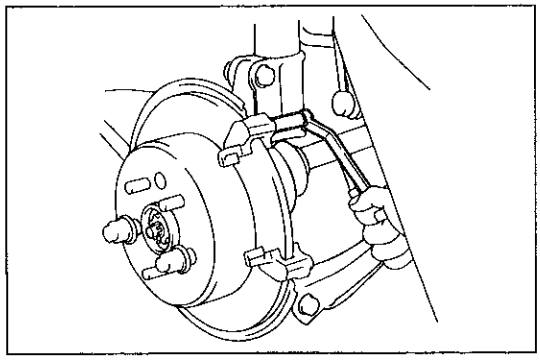
(1) シリンダ　スライド　ブシユ　No.1を取りはずす。
(2) ブシユ　ダスト　ブーツ2個およびメイン　ピン　ブーツを取りはずす。
(3) プラグ　ホイールを取りはずす。



E5469　E5470

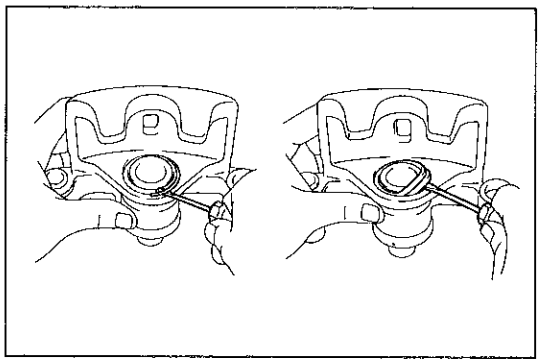
2　シリンダ　スライド　ブシユ　No.2取りはずし

(1) ボルトを取りはずし，シリンダ　スライド　ブシユ　No.2を取りはずす。



E7658

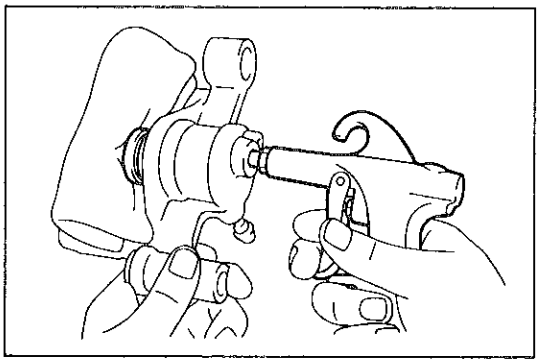
無断複製禁止



E5472 E5473

3 セツト リングおよびシリンダ ブーツ取りはずし

(1) ⊖薄刃ドライバを使用して，セツト リングおよびシリンダ ブーツを取りはずす。



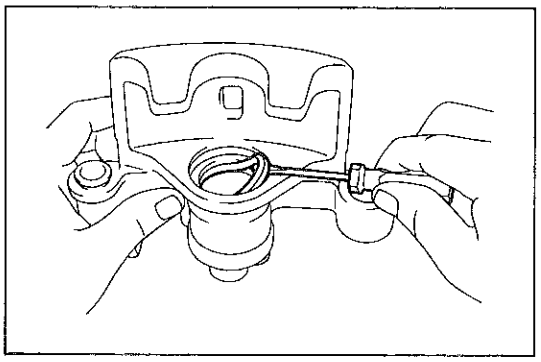
E5474

4 ピストン取りはずし

(1) ピストンとシリンダの間にピストン傷つき防止用の木片，ウエスなどをはさむ。

(2) エア ガンを使用して，シリンダからピストンを取りはずす。

注意 • 指をはさまない。
• フルードを飛散させない。

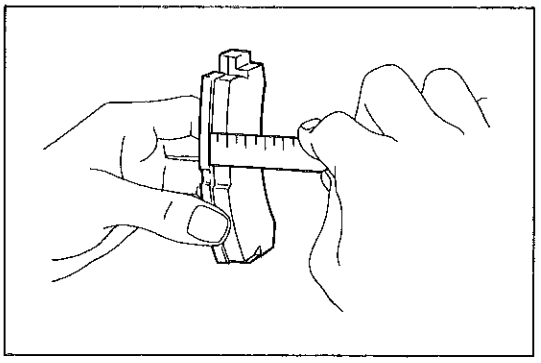


E5475

5 ピストン シール取りはずし

(1) ⊖薄刃ドライバを使用して，ピストン シールを取りはずす。

リヤ ブレーキ構成部品の点検および交換

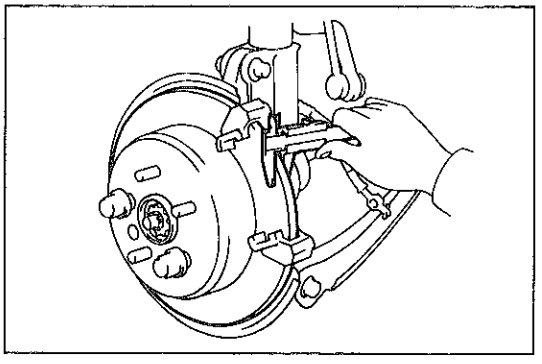


D6937

1 パツドの厚さ測定

基準値 10.0mm
限 度 1.0mm

パツドの厚さが限度以下，または著しい偏摩耗がある場合は交換する。



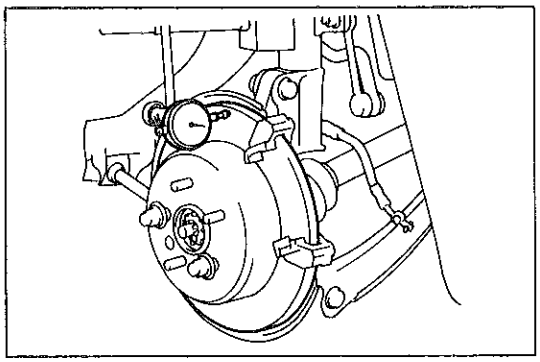
E7654

2 デイスクの厚さ点検

基準値 10.0mm
限 度 9.0mm

デイスクの厚さが限度以下，または著しい偏摩耗，損傷がある場合は交換する。

無断複製禁止



E7655

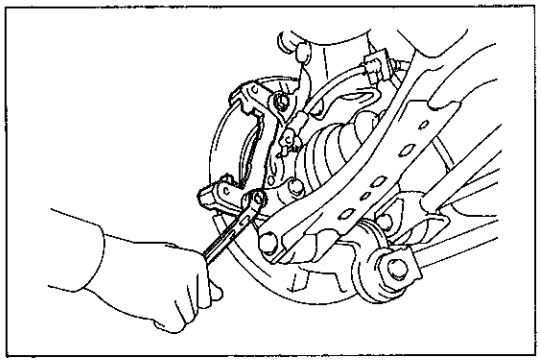
3　デイスクの振れ点検

(1)　デイスクの振れ点検前に，リヤ　ホイール　ベアリングのガタがないことを点検する。（P 6 −50参照）

(2)　ダイヤル　ゲージを使用して，デイスク外側端面の振れを測定する。

限　度　　0.15mm（外周より10mm内側の点）

デイスクの振れが限度以上のときは，デイスクを交換する。



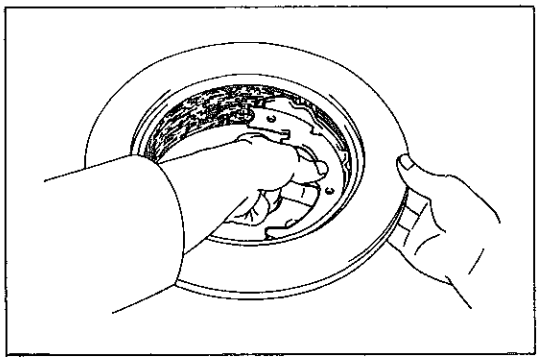
E7656

4　デイスクの交換

(1)　ボルト２本を取りはずし，デイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングをアクスル　キヤリヤから取りはずす。

(2)　仮締めのハブ　ナツトを取りはずし，デイスクを取りはずす。

(3)　パーキング　ブレーキ　シユーを取りはずす。



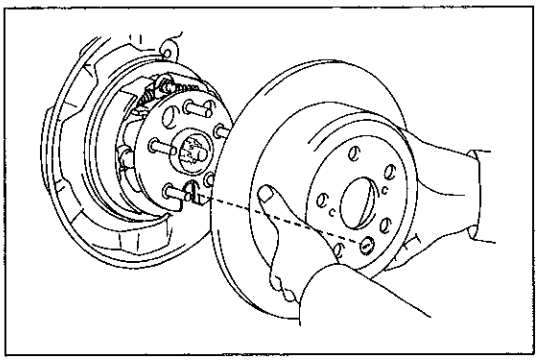
E1779

(4)　デイスクの内面にチヨークを塗布し，ブレーキ　シユーとこすり合わせる。

基　準　　著しい当たり不良がない

当たり不良の場合，ブレーキ　シユー　ライニングを研磨する。

注意　点検終了後，チヨークをふき取る。

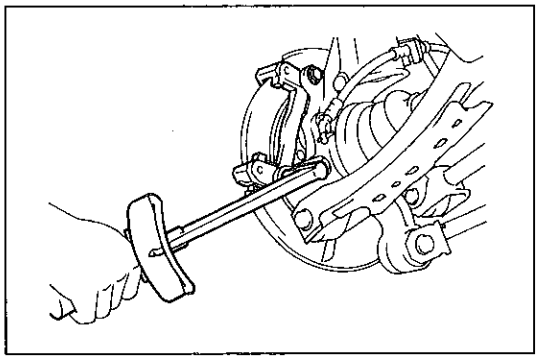


E7657

(5)　パーキング　ブレーキ　シユーを組み付ける。

(6)　デイスクのサービス　ホール穴をリヤ　アクスル　シヤフトの切り欠き部に合わせて取り付ける。

(7)　ハブ　ナツト２個を仮締めする。

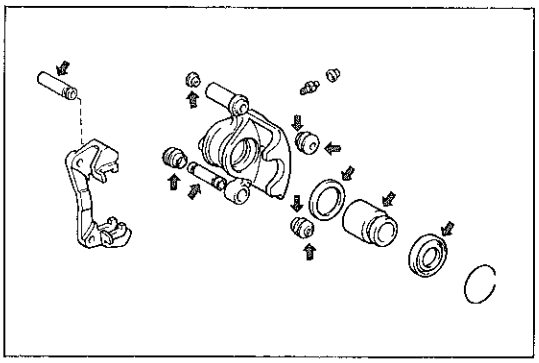


E7658

(8)　ボルト２本で，デイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングをアクスル　キヤリヤに組み付ける。

T＝475kg・cm

無断複製禁止


E5482

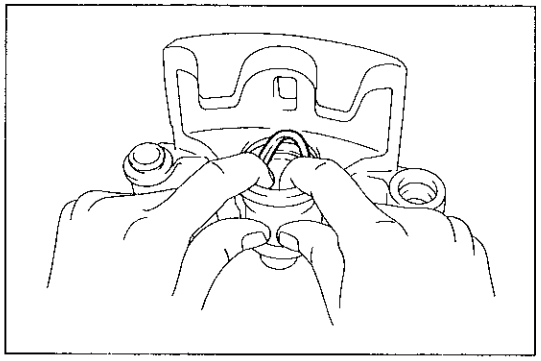
デイスク　ブレーキ　シリンダ組み付け

1　組み付け部品の洗浄

(1)　組み付け部品はアルコールまたはブレーキ　フルードで洗浄する。

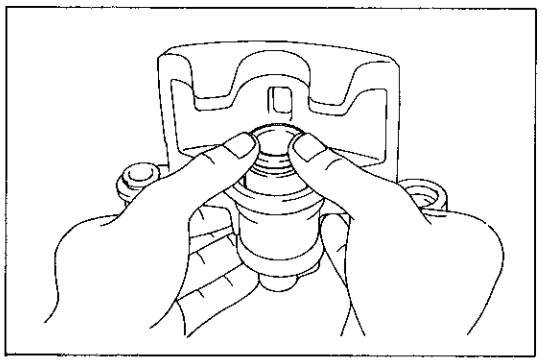
2　ラバー　グリース塗布

(1)　矢印の示す部位にキヤツスル　ラバー　グリースを塗布する。


E5483

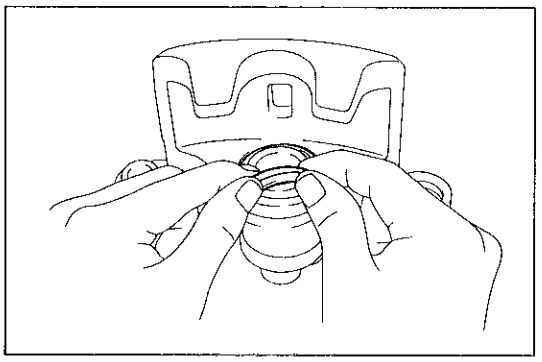
3　ピストン　シール組み付け

(1)　デイスク　ブレーキ　シリンダの溝に新品のピストン　シールを組み付ける。


E5484

4　デイスク　ブレーキ　ピストン組み付け

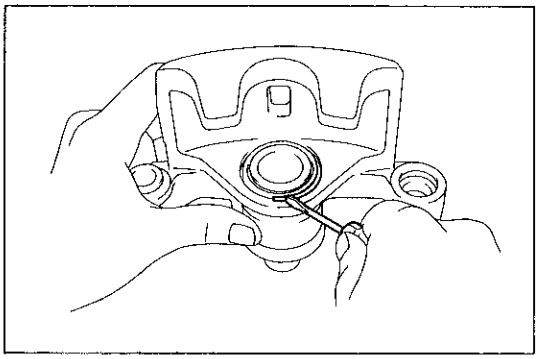
(1)　デイスク　ブレーキ　シリンダにピストンをこじらないように押し込む。


E5485

5　シリンダ　ブーツ組み付け

(1)　デイスク　ブレーキ　シリンダに新品のシリンダ　ブーツを組み付ける。

注意　ブーツをシリンダ溝に確実にはめ込む。

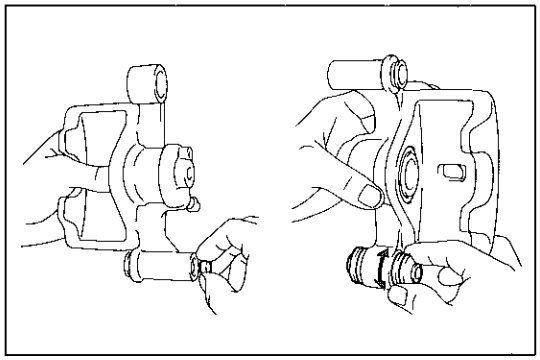

E5486

6　セツト　リング組み付け

(1)　㊀薄刃ドライバを使用して，新品のセツト　リングをシリンダ　ブーツに組み付ける。

注意　ブーツを傷つけない。

無断複製禁止

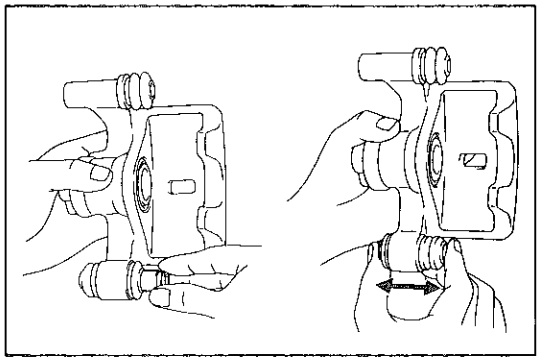


E5487　E5488

7　ホール　プラグ（新品）組み付け

8　ブシユ　ダスト　ブーツおよびメイン　ピン　ブーツ組み付け

(1)　デイスク　ブレーキ　シリンダに新品のブシユ　ダスト　ブーツ2個およびメイン　ピン　ブーツを組み付ける。

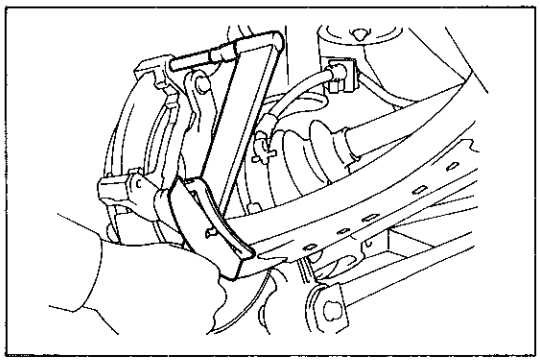


E5469　E5514

9　シリンダ　スライド　ブシユ組み付け

(1)　ブシユ　ダスト　ブーツにブシユ2個を組み付ける。

注意　ブシユの溝にブシユ　ダスト　ブーツを確実に組み付ける。

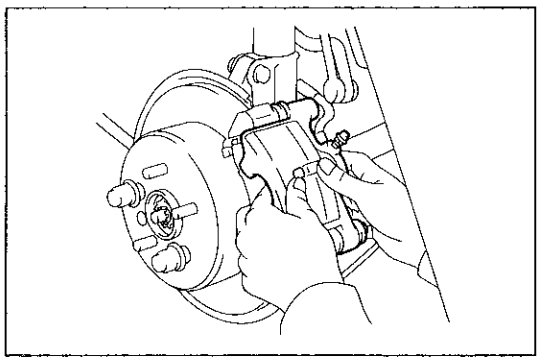


E7659

10　シリンダ　スライド　ブシユ　No.2組み付け

(1)　ボルトで，シリンダ　スライド　ブシユ　No.2をデイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングに組み付ける。

T＝270kg・cm



E7646

デイスク　ブレーキ　シリンダ取り付け

1　デイスク　ブレーキ　パツド取り付け

（P 7―17参照）

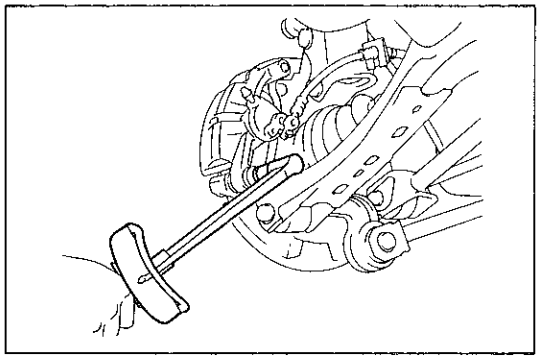
2　デイスク　ブレーキ　シリンダ取り付け

(1)　デイスク　ブレーキ　シリンダのメイン　ピン　ブーツをデイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングのNo.2　ブシユの溝に確実に取り付ける。

(2)　ダスト　ブーツが噛み込まないように，デイスク　ブレーキ　シリンダを取り付ける。

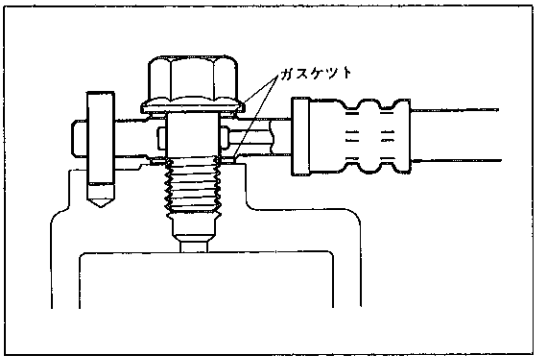
(3)　デイスク　ブレーキ　シリンダをボルトで固定する。

T＝200kg・cm

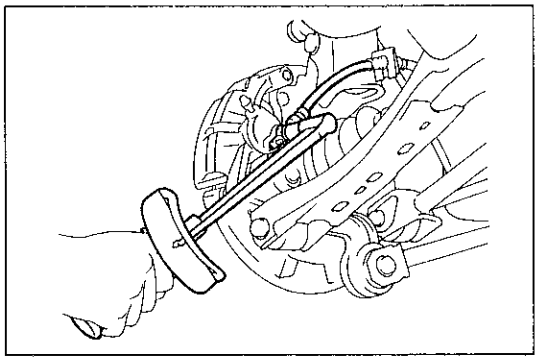


E7660

無断複製禁止



E5489



E7661

3　フレキシブル　ホース接続

(1) フレキシブル　ホースのシール面（両側）に新品のガスケットを取り付け，フレキシブル　ホースの回り止めをデイスク　ブレーキ　シリンダの回り止め穴に確実に入れて，ユニオン　ボルトを締め付ける。

T＝310kg・cm

注意　デイスク　ブレーキ　シリンダのシール面およびフレキシブル　ホースのシール面（両側）を傷つけない。

4　ブレーキ系統のエア抜き

5　ブレーキ　フルード漏れ点検

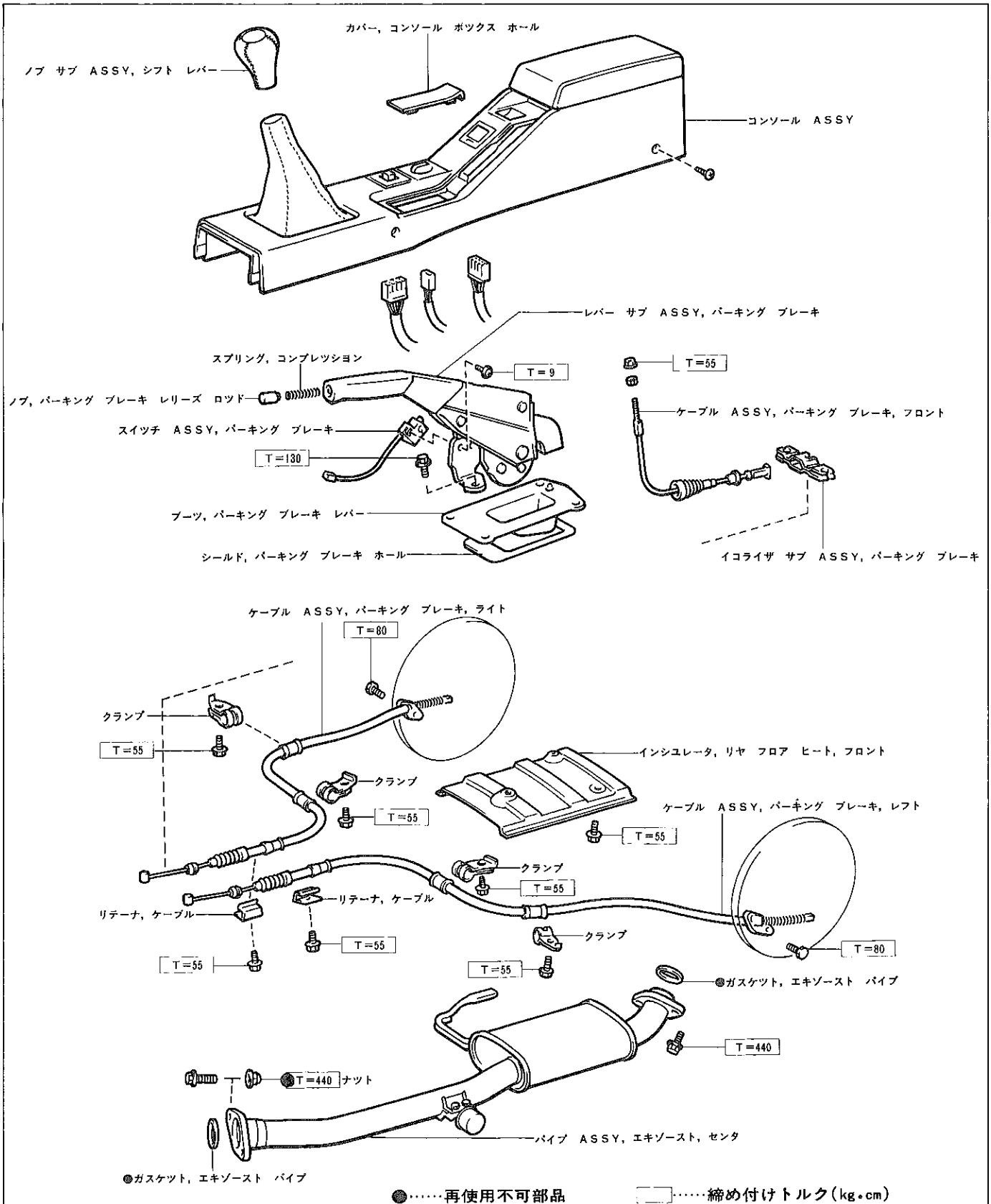
6　リヤ　ホイール取り付け

T＝1050kg・cm

無断複製禁止

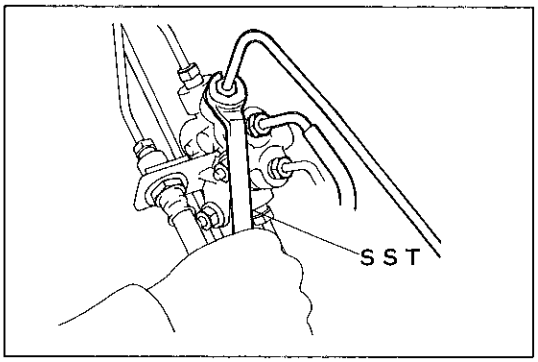
パーキング　ブレーキ　レバー　&　ケーブル

脱着構成図



E7666

無断複製禁止



E7662

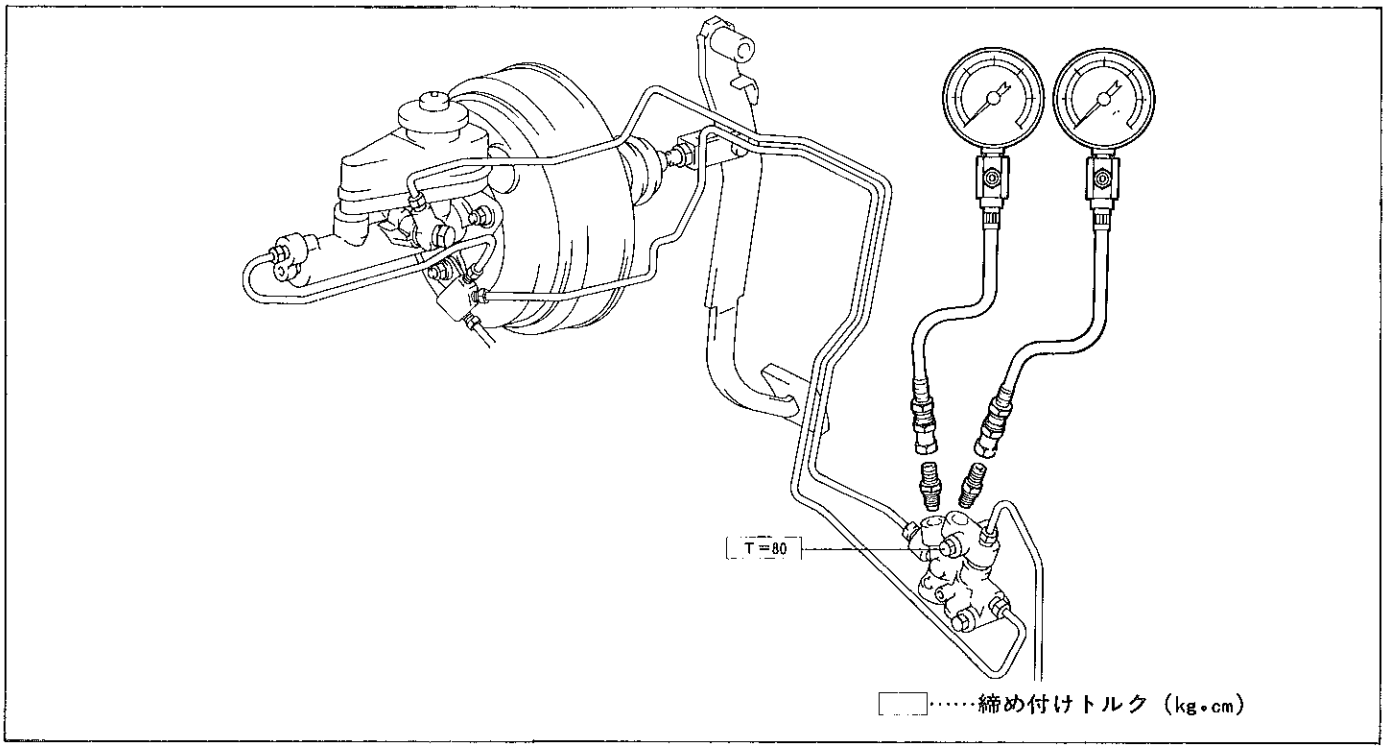
デュアル　P　バルブ

1　液圧点検

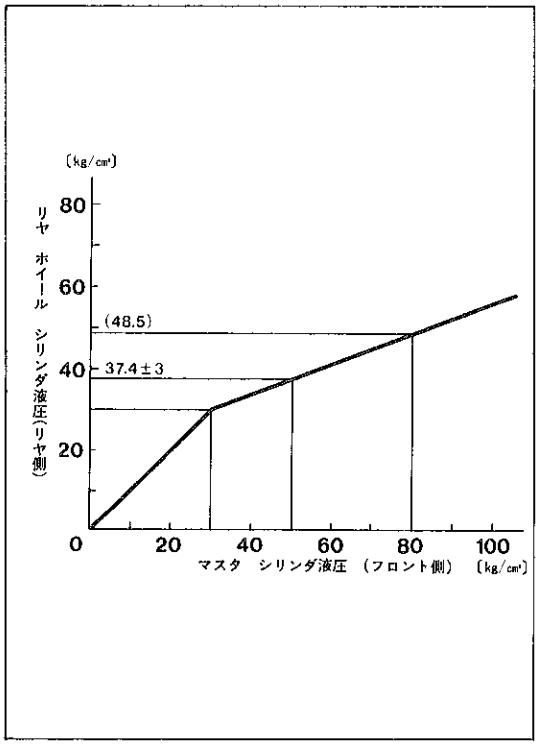
(1)　ＳＳＴを使用して，プロポーショニング　バルブからブレーキ　チユーブ２本を切り離す。

ＳＳＴ　　09751-36011

(2)　ポータブル　ブレーキ　ブースタ　テスタを接続する。



E7663



E7664

(3)　油圧計のエア抜きをする。

(4)　デュアル　P　バルブのフロント側とリヤ側の吐出側の液圧を点検する。

基準値　　図に示す

注意　デュアル　P　バルブの分解および調整はしない。

(5)　ポータブル　ブレーキ　ブースタ　テスタを取りはずす。

(6)　プロポーショニング　バルブにブレーキ　チユーブ２本を仮付けする。

(7)　ＳＳＴを使用して，ブレーキ　チユーブを締め付ける。

ＳＳＴ　　09751-36011

Ｔ＝155 kg・cm

2　ブレーキ系統のエア抜き

3　ブレーキ　フルード漏れ点検

無断複製禁止